

第2編
研究編

第1章 研究施設における研究

1. はじめに

県民の希望する先進医療を実践するために、本センターが循環器、呼吸器疾患に関する日本有数の医療機関になるには、世界的レベルで評価される新しい診断や治療の技術を開発していく必要がある。

本研究施設は、これを目標として以下のような基本方針を掲げ、本センターの活動の一端を担っている。

2. 運営方針

2. 1 基本方針

- ・ つねに世界の最先端を目指し、独創性が高く、波及効果の大きい研究を行う。
- ・ 臨床への応用を目指したテーマを中心に研究活動を行う。
- ・ 医師や技師が創造性を最大限に発揮できるように支援する。

2. 2 運営方針概要

1. 国内外の研究ネットワークを構築し、大学等の他の研究機関と共同研究を積極的に行うことで研究の活性化と迅速化を図る。
2. 実用性の高い研究については、製品化を考慮すると企業との共同研究が必須となるため、これに見合った共同研究システムを構築していく。
3. 理工学系の研究スタッフの参加により、従来の医療スタッフだけでは実行不可能だった研究を実施できる支援体制を作る。

具体的には以下のようなことを行っている。

- ・ 研究テーマの選定に関して助言をする。
 - ・ 研究計画に対して工学的側面から助言する。
 - ・ 市販品にはない特殊な研究機器を試作する。
 - ・ 計測システムに関して助言または構成の支援をする。
 - ・ シミュレーション等により実験結果を理論面から予測する。
 - ・ 実験結果の解析手法に関して技術的な支援をする。
 - ・ 実験結果に対して工学的側面から考察を加える。
 - ・ 工学的側面の強い研究においては単なる支援に止まらず共同で研究を行う。
 - ・ 研究を円滑に進めるために研究ネットワークを利用して、研究内容に見合った外部機関の研究協力者（大学、公立研究機関等の人材）を紹介する。
 - ・ 若手医師や技師に研究活動に関連した一般知識（研究活動のしかた、論文作成発表手順等）の教育と援助を行う。
 - ・ 医師や技師が知っておくべき工学分野の知識を伝達する。
 - ・ 医学に関連した工学分野におけるトピックスを提供する。
4. センターに勤務する医師や技師の研究計画は、原則としてセンター内公募とし、研究委員会にて採否を決定する。
 5. センター外の研究者が当施設を利用して学術的に意義のある研究をしたい場合も、当センター医療職員との共同研究として公募研究の場合と同様に扱う。
 6. 研究のカテゴリーを以下のように分類し、実験研究の目標を明確化する。
 - a) 新奇性・独創性が高い研究（世界初か否かを問う）
 - b) 質的波及効果が高い研究
 - c) 量的波及効果が大きい研究
 - d) 従来の方法の理論面からの研究

- e) 実践的効果がある実験
- f) 教育的効果がある実験
- 7. 研究成果の最終評価を厳しく行い、成果獲得のための投資効率を高める。
- 8. 研究で得られた成果は、報告書にまとめ、また報告会を開くことで、だれもがアクセスできるように管理する。
- 9. 動物実験はすべてNIH基準を満足させることを条件とする。

3. 研究概要

令和5年度に行われた公募研究を含めた主要研究テーマ及び研究内容の概略を以下に示す。

これらの研究は、まだ研究を開始したばかりで実験系の確立を試みている段階のものもあるが、独創性の高いものや、実用性の高いものが多く、今後の成果が期待される。

持続的硬膜外腔脊髄冷却システム

大動脈瘤手術の深刻な合併症である対麻痺を回避する目的で開発した持続的硬膜外腔脊髄冷却システムは、長年にわたる動物実験で満足のいく結果を示すことができた。その成果はすべて、Annals of Thoracic Surgery, Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Anesthesiologyなど、主要ジャーナルに投稿して余すところなくアーカイブ化してきた。投稿論文の多くは、若い医学者たちに貴重な研究の機会を与え、彼らの学位論文となっている。

この成果をもとに、世界初の臨床応用を目指して、システムの性能面や安全面でなお一層の向上を図るべく検討を進めた。カテーテルの経皮的挿入を実現し、臨床治験として胸部大動脈瘤手術例に適用した。その安全性、有用性を確認しつつあり、対麻痺の発生回避率はきわめて高い。過去に類型を見ない新技術であり、現在、医師主導の臨床治験から本邦PMDA（米国のFDAに相当）主導の治験への移行期である。最終的に製造承認を得て、臨床に送り出すべく鋭意検討中である。将来は、脊髄外傷による四肢麻痺などの治療にも応用できる可能性さえ秘めていると期待している。

工学的側面からは、冷却システムのメカニズムを有限要素法（Finite Element Method）を用いてコンピュータにより解析し、冷却効果の裏付けを進めている。コンピュータによる動特性解析は、拡張性のあるテーマであり、そのプラットフォームを構築することは様々な波及効果が期待できると考える。

以下に令和5年度に行われた公募研究テーマを示す。

1. 市中肺炎における起因微生物の検討
2. 特発性肺線維症と鳥関連慢性過敏性肺炎の鑑別・診断における鳥特異抗体の有用性の検討
3. 急性経過の間質性肺炎に占めるウイルス肺炎の頻度とその特徴に関する検討
4. 原発性肺癌におけるPD-L1発現の不均一性の研究
5. Cone-beam CTを用いた胸部外科手術の有用性の研究
6. 肺癌手術症例における周術期末梢血循環腫瘍細胞と術後再発の関連についての検討
7. マイクロ血管吻合操作における客観的技術評価を用いた教育システムの構築
8. 採血後の血清保存における経時的なLD活性低下の解明 - LDアイソザイムのサブユニット構造との関係性 -
9. 深部静脈血栓症の早期発見に対する、理学療法士としての下肢静脈エコー検査の取り組み

第2章 病院における研究等

1 著 書

病理診断科

Kawabata Y. The pathogenesis and progression of sarcoidosis from the standpoint of tuberculosis.
Saghazadeh A, edit. TUBERCULOSIS, Integrated Science: Integrated Studies for a Complex Disease.
Springer Nature, Switzerland. 2023:1003-1031.

臨床工学部

松本貴之；できるエンジニアと言われるために3年目までに知っておきたい112のこと，01手術関連業務
②手術支援ロボット「ダヴィンチ」では何をするの？ 秀潤社GAKKEN,2023；209 - 212

2 論文

循環器内科

1. 藤井 真也 The beneficial effects of balloon pulmonary angioplasty for patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension are accompanied by increased body mass index and improved nutritional status

Shinya Fujii, Shinya Nagayoshi, Takashi Miyamoto, Kazuo Ogawa, Michihiro Yoshimura
Pulm Circ. 2024 Feb 17;14 (1) :e12347. doi: 10.1002/pul2.12347. eCollection 2024 Jan.

呼吸器内科

小林洋一他

大葉性肺炎を呈した成人発症アデノウイルス肺炎の1例
気管支学, 45 (4) : 275-279, 2023

丸山 智也他

生物学的製剤を使用したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の8例
日呼吸誌, 12 (4) : 179-185, 2023

Tomoya Maruyama et al. A case of angioimmunoblastic T-cell lymphoma presenting with migration of lung shadows Respir Med Case Rep. 2023 Dec 29;47

脳神経センター

〈英文〉

Neki H, Katano T, Maeda T, Shibata A, Komine H, Kikkawa Y :Intraarterial urokinase for thrombus migration after mechanical thrombectomy for large vessel ischemic stroke. Interv Neuroradiol. 29 (1) : 88-93; 2023 (原著論文)

Sakurada K, Kikkawa Y, Kasakura S, Nishikata M, Onodera K, Suzuki S. Advantages of largest balloon guiding catheter and largest stent retriever (LABLAS) technique for internal carotid artery embolization. Interventional Neuroradiol. Under submission (原著論文)

Maeda T, Kikkawa Y, Ehara T, Tsuchiya R, Tabata S, Onodera K, Kimura T, Take Y, Suzuki K, Kurita H. Clinical Outcomes in Elderly Patients with Chronic Subdural Hematoma: Validation of Irrigation Assignment Based on Hematoma Characteristics. Life (Basel) . In press. (原著論文)

Kamide T, Take Y, Kikkawa Y, Onodera K, Tabata S, Suzuki K, Takeda R, Ikeda T, Kohyama S, Kurita H. Clinical symptoms due to unruptured cerebral arteriovenous malformations can be improved after institutional multimodal treatment. Neurosurgery. Under submission (原著論文)

〈和文〉

吉川雄一郎, 木村辰規, 寺西亮雄, 鈴木海馬, 吉川信一郎, 竹田理々子, 小倉丈史, 池田俊貴, 大井川秀聡, 栗田浩樹. クリッピング/コイル塞栓術後再発脳動脈瘤に対する直達手術の治療戦略. 脳卒中の外科 52 (3) : 223-230; 2024.

小野寺康暉, 吉川雄一郎, 西方雅哉, 櫻田牙響, 鈴木隼, 笠倉至言 : 動脈硬化性病変に対するSTA-MCA bypass後の脳表静脈の赤色化と術後遠隔部梗塞に関する検討. 脳卒中の外科 52: 203-209. 2024

小野寺康暉, 吉川雄一郎, 根木宏明, 柴田碧人, 古峰弘之, 西方雅哉, 櫻田牙響, 鈴木 隼, 笠倉至言. 就業時間外の機械的血栓回収療法が治療成績に与える影響の検討～埼玉県急性期脳卒中治療ネットワークと院内ワークフローによる時間短縮の試み～. 脳卒中. (投稿中)

大井川秀聡, 鈴木海馬, 佐藤大樹, 前田拓真, 古峰弘之, 竹田理々子, 吉川雄一郎, 小倉文司, 栗田浩樹. 前方循環未破裂脳動脈瘤クリッピング術における ‘three-hand surgery’ の実際とトラブル対処法. 脳卒中の外科 51 (6) : 484-489; 2023.

病理診断科

Iwashita H, Kawabata Y, Hayashi H, Matsushita S, Yamashiro T, Matsumura M, Yoshimura Y, Kataoka T, Mitsui H, Suzuki T, Misumi T, Tanaka T, Ishijima S, Fukuoka J, Iwasawa T, Ogura T, Okudera K. Frequency of slight interstitial lung lesions in coronavirus disease 2019 autopsy cases - potential risk factor of severe pneumonia, BMC Pulm Med. 2023 Oct 27;23 (1) :408. (原著)

Inoue C, Amata A, Chonan T, Kawabata Y, Matsuno Y, Suzuki T. Paraseptal emphysema in indium lung: Tracing the pathological footprints of chronic exposure. Tohoku Journal of Experimental Medicine (TJEM) . 2024 May 30;263 (1) :51-54. (総説)

Hidaka K, Inai T, Kosho T, Yamaguchi T, Kawabata Y, Inai Y, Imamura S, Sanada S. A patient with pleuroparenchymal fibroelastosis carrying a novel fibrillin-2 gene variant. Respir Med Case Rep. 2023 May 13;44:101870. (症例報告)

Ota T, Suzuki H, Kawabata Y, Hino T, Yanagawa N. Mechanisms of cavity formation in pulmonary lesions associated with polyclonal hyperglobulinemia. Intern Med. 2023 May 24. doi: 10.2169/internalmedicine.1875-23. (症例報告)

Ishiguro T, Kobayashi Y, Furuno H, Takata N, Kawabata Y, Shimizu Y, Takaku Y. Drug induced lung disease due to topical minoxidil. Respir Med Case Rep. 2023 Nov 5;46:101940. (症例報告)

Morimoto T, Kawaguchi T, Yamasaki K, Shingu T, Ikegami H, Dosaka H, Murata Y, Kawabata Y, Yatera K. A case of idiopathic multicentric Castleman’ s disease with secondary autoimmune neutropenia. Respirology Case Reports. 2023;12:e01273. (症例報告)

薬剤部

仙波秀彦, 塩澤亮太, 杉田英章, 柳田絢子, 鈴木健太, 高橋公子, 鍵山奈保, 三宮忠, 感染症専用病棟におけるプロトコルに基づく薬物治療管理の有用性に関する調査 日本病院薬剤師会雑誌, Vol.59 No.12 2023, 1371-1377

鈴木健太, 原幸稔, 仙波秀彦, 松本大吾, 三宮忠, 外来化学療法におけるトレーシングレポートの有用性と医療経済効果の検討 日本病院薬剤師会雑誌, Vol.59 No.11 2023, 1237-1243

3 学会・研究発表等

循環器内科

一般学会研究会発表（演者）

国内学会（総会）

1. 宮本 敬史 Valsalva洞動脈瘤破裂とVSDを経胸壁心エコーによるカラードプラ法と連続波ドプラ法による収縮期時相波形から鑑別し得た一例
小島 幸子、宮本 敬史、野々上 明、大久保 輝男、武藤 吉輝 森田 真麗英、諸星 久留美、草間 冬子、小峰 雅子、大宮 譲、羽鳥 将史、佐々木 和哉、村上 彰通、新井 光太郎
日本心エコー図学会 第34回学術集会 2023年4月21日 長良川国際会議場
2. 宮本 敬史 心不全合併の重症大動脈弁狭窄症に対する経皮的逆行性バルーン大動脈弁形成術（RetroINOUE BAV）の安全性と有効性についての検討
羽鳥 将史、宮本 敬史、岩崎 俊充、大宮 譲、金井 聡、佐々木 和哉、野々上 明
池田 和也、村上 彰通、鈴木 輝彦、武藤 誠
第61回 CVIT関東甲信越地方会 YIA臨床研究部門 2023年5月13日
大手町サンケイプラザ
3. 池田 和也 CVIT「A case of in-stent restenosis with severe calcification successfully treated with an excimer laser explosion technique」
2023年8月4日 ポスター発表 福岡PayPayドーム
4. 鈴木 輝彦 第31回日本心血管インターベンション治療学会; CVIT 2023 学術集会
メディカル一般ポスター 61（日本語）"ACS-10" 座長
2023年8月5日福岡PayPayドーム ポスター会場

国内学会（地方会）

1. 武藤 誠 第61回 日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会 心血管インターベンションの未来を開く ACSへのOptimal PCI：STEMI座長
2023年5月13日 大手町サンケイプラザ
2. 武藤 誠 第61回 日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会 心血管インターベンションの未来を開く 術中に造影撮影が不可になり透視保存で代用したインシデントの一例 2023年5月13日 大手町サンケイプラザ
3. 鈴木 輝彦 ELCAで戦うACS 当院での使用経験から 第61回 日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会 2023年5月13日 大手町サンケイプラザ
4. 鈴木 輝彦 Imagingで実感するIVLの効果と実際 当院での初期使用経験から
第61回 日本心血管インターベンション治療学会2023年10月14日 関東甲信越地方会

一般学会研究会発表（座長）

1. 藤井 真也 第8回日本肺高血圧・肺循環学会 2023年6月3日 神戸 BPAビデオライブカンファレンス コメンテーター
2. 鈴木 輝彦 血管治療戦略 症例検討会LCX CTOの治療に難渋した症例
2023年12月22日 Web

腎臓内科

国内発表

透析患者のリンと栄養管理

原 宏明（埼玉県立循環器呼吸器病センター 腎臓内科）

2023年05月18日 ビートルWEB講演会 埼玉県川越市

一般演題

異なる時期に両側の胸水に出現した 胸水原発性滲出性リンパ腫（PEL）の一例

埼玉県立循環器・呼吸器病センター腎臓内科

原 宏明, 佐藤真理子

同 病理診断科 清水禎彦

埼玉医科大学総合医療センター腎・高血圧内科

佐野達郎, 小西良美, 中村裕美子, 清水泰輔, 小川智也, 前嶋明人, 長谷川元

2024年02月10日 日本内科学会第693回関東地方会 東京都 東京国際フォーラム

血液透析移行後に膠原病合併肺高血圧症を発症し、透析困難のため腹膜透析をアシステッドPDとして再開した1例

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 腎臓内科 佐藤 真理子 原 宏明

2024年03月31日 第13回 埼玉腹膜透析研究会・総会 埼玉県川越市 ウェスタ川越

放射線治療科

今村文香, 阿部孝憲, 大田朝宏, 平井隆太, 松本寛子 常勤医1名体制の地域基幹病院における定位放射線治療導入の経験 2024. 2 第61回群馬放射線腫瘍研究会

呼吸器内科

磯野泰輔、倉島一喜、丸山智也、長谷見次郎、西岡彩子、小島彩子、西田隆、河手絵里子、小林洋一、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、柳澤勉

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症化予測マーカーとしての血清TARC値の検討：第63回日本呼吸器学会学術講演会：2023年4月

西岡彩子、小林洋一、丸山智也、長谷見次郎、磯野泰輔、小島彩子、西田隆、河手絵理子、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、高柳昇

MDDで診断されたCOP患者におけるBAL中ウイルス陽性例に関する検討：第63回日本呼吸器学会学術講演会：2023年4月

丸山智也、石黒卓、高久洋太郎、柳田絢子、杉田英章、三宮忠、長谷見次郎、西岡彩子、磯野泰輔、小島彩子、西田隆、河手絵理子、小林洋一、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、高柳昇

アレルギー性炎症を伴った肺真菌症に対して生物学的製剤を使用した症例の検討：第63回日本呼吸器学会学術講演会：2023年4月

小林洋一、古野肇、丸山智也、西岡彩子、磯野泰輔、小島彩子、西田隆、河手絵理子、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、高柳昇

アブラコウモリ（*Pipistrellus abramus*）による再燃症状軽減型線維性過敏性肺炎の1例：第254回日本呼吸器学会関東地方会：2023年5月

古野肇、西田隆、西岡彩子、丸山智也、磯野泰輔、小島彩子、河手絵理子、小林洋一、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、高柳昇、清水禎彦

クライオ生検で診断した血管内大細胞型B細胞リンパ腫の1例：第255回日本呼吸器学会関東地方会：2023年7月

小野寺葉子、高久洋太郎、倉島一喜、丸山智也、武内祐希、古野肇、磯野泰輔、小島彩子、西田隆、小林洋一、石黒卓、鍵山奈保、柳沢勉

無症候性の蛋白尿を契機に診断に至った肺MAC症に伴う続発性アミロイドーシスの一例：第184回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部会 第256回日本呼吸器学会関東地方会合同学会：2023年9月

武内祐希、鍵山奈保、古野肇、小野寺葉子、丸山智也、磯野泰輔、小島彩子、西田隆、小林洋一、石黒卓、高久洋太郎、倉島一喜、柳沢勉、清水禎彦、渡辺哲

多発肺結節とすりガラス陰影を呈し胸腔鏡下肺生検で診断した好酸球性肺炎合併肺ムコール症の1例：第257回日本呼吸器学会関東地方会：2023年11月

小島彩子、鍵山奈保、古野肇、伊藤弘毅、武内祐希、小野寺葉子、丸山智也、磯野泰輔、西田隆、小林洋一、石黒卓、高久洋太郎、倉島一喜、清水禎彦、佐藤充人、柳澤 勉

気胸・消化管穿孔を契機に診断したALアミロイドーシスの1例：第185回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部 第258回日本呼吸器学会関東地方会合同学会：2024年2月

古野肇、西田隆、小林洋一、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳沢勉

高齢者に発症したCOVID-19関連多系統炎症症候群（MIS-A）の1例：第692回内科学会関東地方会：2023年12月

呼吸器外科

齋藤 雄一, 足立 広幸, 遠藤 誠, 塩野 知志, 高橋 伸政, 川瀬 晃和, 坂尾 幸則, 塩見 和, 羽藤 泰, 藤井 祥貴, 五来 厚生, 松谷 哲行, 深井 隆太, 澤端 章好: TNM分類第8版を用いた非小細胞肺癌に対する術後補助化学療法が多施設共同前向き観察研究 (ILO1804). 第123回日本外科学会定期学術集会, 東京; 2023年4月27-29日

渡邊 直昭, 藤田 雄, 藤本 祥太, 石黒 卓, 高橋 伸政, 清水 禎彦, 高柳 昇, 河端 美則, 荒屋 潤, 山本 雄介, 桑野 和善: びまん性肺疾患 病因・病態1 空間トランスクリプトーム解析によるIPF治療標的の探索. 第63回日本呼吸器学会学術講演会, 東京; 2023年4月28-30日

齋藤 雄一, 脇本 信, 出嶋 仁, 諸岡 宏明, 揖斐 孝之, 山内 良兼, 高橋 伸政, 清水 禎彦, 池谷 朋彦, 川村 雅文, 坂尾 幸則: 非小細胞肺癌における原発巣と転移リンパ節間のPD-L1発現の違い. 第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 横浜; 2023年6月29, 30日

高橋 伸政, 脇本 信, 諸岡 宏明, 揖斐 孝之, 松井 雄介, 池谷 朋彦, 浅沼 晃三, 松原 浩太: 縦隔腫瘍に対する剣状突起下アプローチ導入時の手術成績. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会, 新潟; 2023年7月13, 14日

諸岡 宏明, 脇本 信, 揖斐 孝之, 高橋 伸政, 池谷 朋彦, 星 永進: FDG高集積により肺癌との鑑別診断に苦慮した左肺底区動脈大動脈起始症の一例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会, 新潟; 2023年7月13, 14日

揖斐 孝之, 脇本 信, 諸岡 宏明, 高橋 伸政, 池谷 朋彦: 縦隔型左A8を有する肺腺癌に対し胸腔鏡下左上葉切除術を施行した1例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会, 新潟; 2023年7月13, 14日

脇本 信, 諸岡 宏明, 揖斐 孝之, 高橋 伸政, 池谷 朋彦: EWS, 大胸筋弁により瘻孔閉鎖し, 治癒した難治性有癭性膿胸の1例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会, 新潟; 2023年7月13, 14日

川瀬 晃和, 足立 広幸, 高橋 伸政, 諸星 隆夫, 山本 健嗣, 齋藤 雄一, 遠藤 誠, 石川 善啓, 上野 剛, 澤端 章好: 術後エアリークの予防と対策, 難治性気胸の治療 術後遷延性気漏に対する胸膜癒着術の実態調査 多施設共同研究データからの解析. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会, 新潟; 2023年7月13, 14日

高橋 伸政, 齋藤 雄一, 松井 雄介, 松原 浩太, 脇本 信, 諸岡 宏明, 揖斐 孝之, 池谷 朋彦, 清水 禎彦, 河端 美則: 間質性肺炎合併肺癌の外科治療 間質性肺炎の拡がりに基づいた術後急性増悪発症予測および長期予後について. 第76回日本胸部外科学会定期学術集会, 仙台; 2023年10月19-21日

小山 信之, 平川 英樹, 宮崎 照雄, 古川 欣也, 青木 琢也, 高久 洋太郎, 高橋 伸政, 清水 禎彦, 植松 和嗣: 喫煙者早期肺癌におけるEZH2発現とバイオマーカー探索. 第64回日本肺癌学会学術集会, 千葉; 2023年11月2-4日

揖斐 孝之, 松井 雄介, 松原 浩太, 脇本 信, 諸岡 宏明, 高橋 伸政, 池谷 朋彦: 肺カルチノイド腫瘍に対する手術成績の検討. 第64回日本肺癌学会学術集会, 千葉; 2023年11月2-4日

高橋 伸政, 松井 雄介, 松原 浩太, 脇本 信, 諸岡 宏明, 揖斐 孝之, 池谷 朋彦, 下田 純子, 清水 禎彦, 浅沼 晃三: 肺癌に対する区域切除後, 再発症例の検討. 第64回日本肺癌学会学術集会, 千葉; 2023年11月2-4日

齋藤 雄一, 竹山 諒, 香丸 真也, 渡邊 智博, 白井 俊, 脇本 信, 出嶋 仁, 諸岡 宏明, 揖斐 孝之, 山内 良兼, 高橋 伸政, 池谷 朋彦, 小林 育夫, 坂尾 幸則. 肺野末梢病変に対するCone-beam CTを用いた術中同定法の成績と問題点. 第64回日本肺癌学会学術集会、千葉；2023年11月2-4日

森川 慶, 高田 佐織, 田中 寿志, 井谷 英敏, 堀内 一哉, 大熊 裕介, 副島 研造, 中川 英之, 中原 善朗, 関 好孝, 別所 昭宏, 高橋 伸政, 林 健太郎, 遠藤 健夫, 武山 廉, 前倉 俊也, 瀧川 奈義夫, 堀本 勝久, 松谷 哲行, 関 順彦. EGFRmt (+) NSCLCのafatinibバイオマーカー探索前向き観察研究 (EXTRA試験) :高齢者サブグループ解析. 第64回日本肺癌学会学術集会、千葉；2023年11月2-4日

脳神経センター

吉川雄一郎, 小野寺康暉, 塩飽宙也, 寺西亮雄, 笠倉至言. 慢性硬膜下血腫の再手術に関わる因子の検討. 第46回日本脳神経外傷学会 (2023.2.24-25 岡山)

吉川雄一郎, 鈴木海馬, 小野寺康暉, 木村辰規, 寺西亮雄, 笠倉至言, 小倉丈史, 池田俊貴, 大井川秀聡, 栗田浩樹. 破裂内頸動脈血豆状動脈瘤に対する急性期トラッピング/ハイフローバイパスの中・長期予後 (Stroke2023) (2023.3.16-18 横浜)

吉川雄一郎, 鈴木海馬, 小野寺康暉, 木村辰規, 寺西亮雄, 笠倉至言, 小倉丈史, 池田俊貴, 大井川秀聡, 栗田浩樹. [シンポジウム]「破裂脳動脈瘤のstaged management」破裂脳動脈瘤に対する急性期コイル塞栓術後再発に対する直達手術 (Stroke2023) (2023.3.16-18 横浜)

吉川雄一郎. [ランチョンセミナー]「エキスパートによる直達手術」安全な開頭クリッピングのための基本手技. 第43回日本脳神経外科コンgres総会 (2023.5.21 大阪)

吉川雄一郎. [ランチョンセミナー] 開頭クリッピングを安全に行うための術野展開と剥離～整容に配慮した閉頭の工夫～. 第37回日本神経救急学会学術集会 (2023.6.24 軽井沢)

吉川雄一郎, 小野寺康暉, 福岡真惟, 鈴木隼, 笠倉至言, 栗田浩樹. 安全にクリッピングを行うための術野展開と動脈瘤剥離の工夫. 日本脳神経外科学会 第82回学術総会 (JNS2023) (2023.9.25 横浜)

吉川雄一郎, 小野寺康暉, 福岡真惟, 鈴木隼, 笠倉至言. レイヤーを意識したCEAの基本手技. (Stroke2024) (2024.3.7-9 横浜)

吉川雄一郎, 小野寺康暉, 福岡真惟, 鈴木隼, 笠倉至言. クラゾセンタン導入前後での治療成績の比較. (Stroke2024) (2024.3.7-9 横浜)

笠倉至言, 吉川雄一郎, 寺西亮雄, 小野寺康暉: 塞栓性ICA閉塞に対するLargest balloon guiding catheter and largest stent retriever (LABLAS) technique. 第48回日本脳卒中学会学術集会 (2023.3.17 横浜)

寺西亮雄, 玉田啓太, 小野寺康暉, 笠倉至言, 吉川雄一郎: アスペルギルス脳膿瘍の一例. 第273回埼玉脳神経外科懇話会 (2023.2.15 web開催)

寺西亮雄, 藁もなみ, 木村辰規, 笠倉至言, 吉川雄一郎: 超高齢者の機械的血栓回収療法の有効性と安全性

に関する検討. 第48回日本脳卒中学会学術集会 (STROKE 2023) (23/3/16-18 横浜)

寺西亮雄, 玉田啓太, 小野寺康暉, 吉川雄一郎: アスペルギルス脳膿瘍の一例. 第150回日本脳神経外科学会 関東支部会 (2023.4.08 東京)

小野寺康暉, 西方雅哉, 櫻田牙響, 鈴木隼, 笠倉至言, 吉川雄一郎: 動脈硬化性病変に対するSTA-MCAバイパス術後に生じた遠隔部の脳梗塞と脳表静脈の赤色化との関連性. STROKE 2024 (2024.3.9 横浜)

小野寺康暉, 西方雅哉, 櫻田牙響, 鈴木隼, 笠倉至言, 吉川雄一郎: 交通外傷後に脳梗塞を生じた頭蓋外内頸動脈解離に対して急性期に血管内治療を行った1例. 第47回日本脳神経外傷学会 (2024.3.2 東京)

小野寺康暉, 西方雅哉, 櫻田牙響, 鈴木隼, 笠倉至言, 吉川雄一郎: 交通外傷後に脳梗塞を生じた頭蓋外内頸動脈解離に対する急性期血管内治療の1例. 第25回日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会 (2024.2.3 東京)

小野寺康暉, 福岡真惟, 鈴木隼, 笠倉至言, 吉川雄一郎: 動脈硬化性病変に対する血行再建術後に生じた遠隔部の脳梗塞と脳表静脈の赤色化との関連性に関する検討. 第82回日本脳神経外科学会学術集会 (2023.10.26 横浜)

福岡真惟, 小野寺康暉, 鈴木隼, 笠倉至言, 吉川雄一郎: 繰り返す塞栓性脳梗塞で見つかったcarotid webの1例. 第151回日本脳神経外科学会 関東支部学術集会 (2023.9.9 御茶ノ水)

福岡真惟, 小野寺康暉, 鈴木隼, 笠倉至言, 吉川雄一郎: 繰り返す塞栓性脳梗塞で見つかったcarotid webの1例. 第82回日本脳神経外科学会総会 (2023.10.25-27 横浜)

大宅宗一, 吉田信介, 齊藤 徹, 飯星智史, 庄島正明, 鈴木 海馬, 大井川秀聡, 神山信也, 吉川雄一郎, 栗田浩樹. [シンポジウム] 頸部内頸動脈狭窄症の視力改善効果に対する内膜剥離術とステント術の違い: 網膜動脈微小塞栓の影響について. 第53回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2024.3.7 横浜)

リハビリテーション科およびリハビリテーション部

洲川明久 新型コロナウイルス感染患者に対する当センターにおけるリハビリテーション医療のかかわり方 2023.6.30 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会 福岡

鈴木昭広, 大澤伸, 山口彩香, 浅石竜輝, 門脇裕太, 阿古健人, 鏡圭佑, 関根栞, 田島修, 伊藤真樹, 福田大空, 藤本光美, 平川雅大, 柳澤千香子, 洲川明久, 藤井真也 深部静脈血栓症の早期発見に対する、理学療法士としての下肢静脈エコー検査の取り組み 2023.10.26 第64回日本脈管学会学術総会 横浜

福田大空, 鈴木昭広, 藤本光美, 伊藤真樹, 斎藤康人, 押見雅義, 柳澤千香子, 洲川明久, 藤田暁博 心臓血管外科の術前歩行速度に影響を与える因子の検討 2023.9.3 日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会2023

伊藤真樹, 福田大空 Mitra Clip患者における術前フレイルが術後に与える影響 2023.7.15-16 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 横浜

病理診断科

清水禎彦. 肺の高悪性度神経内分泌腫瘍：小細胞肺癌の病理学的特徴について（シンポジウム17：小細胞肺癌を主体とする高悪性度神経内分泌腫瘍）. 第43回日本画像医学会. 2024年2月23日, 東京.

放射線技術部

田島修, 鈴木輝彦, 武藤誠：下肢distal-bypass術中に造影撮影が不可になり透視保存で代用したインシデントの一例. 2023.5. 第61回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会, 東京.

田島修, 鈴木輝彦, 武藤誠：エキシマレーザー（ELCA）が功奏し血栓の蒸散が光干渉断層診断（OFDI）にて明瞭に観察しえた急性冠動脈症候群（ACS）の一例. 2023.10. 第62回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会, 東京.

検査技術部

小島幸子、大久保輝男、武藤吉輝、森田真麗英、諸星久留美、草間冬子、宮本敬史（循環器内科）
Valsalva洞動脈瘤破裂とVSDを経胸壁心エコーによるカラードプラ法と連続波ドプラ法による収縮期時相波形から鑑別し得た一例

日本心エコー図学会 第34回学術集会 2023年4月21日～23日 開催地：岐阜市

臨床工学部

肺出血に対し肺血流制御を目的としたV-A ECMOを導入し救命し得た1症例

鎌田浩聡 黒岩清一郎 中林将大 西田慎一 中嶋康仁 前田隆求

第29回 日本体外循環技術医学会 関東甲信越地方大会 2023年4月16日

Rota wireの断裂により冠動脈穿孔をきたした症例

加藤和也

ADATARA Live Demonstration 2023 2023年6月1日

補助循環用ポンプカテーテル使用時の潜在的血栓発生の可能性

羽鳥翔太 黒岩清一郎 茂木智希 前川杏果 吉岡晃紀 小沢美樹 関沼翔太 高山秀輔 鎌田浩聡 中林将大 大石航平 中島あゆみ 藤井拓也 小暮俊一 加藤和也 植木弘一 西田慎一 中嶋康仁

第33回 埼玉臨床工学会 2023年6月4日

Coumel現象を伴うAVRTの経験

中林将大, 羽鳥翔太, 小暮俊一, 関沼翔太, 中島あゆみ, 藤井拓也, 庄司梨絵, 中嶋康仁

第33回 埼玉臨床工学会 2023年6月4日

BV計のモニタリングが透析膜に対するアレルギー反応の早期発見に有用であった1例

鎌田浩聡 藤井拓也（代理発表） 中林将大 関沼翔太 中嶋康仁 原宏明 中村裕美子

第33回 埼玉臨床工学会 2023年6月4日

重度肺疾患を有した連合弁膜症に対し一期的カテーテル治療で救命し得た一例

加藤和也 高山秀輔 小暮俊一 中嶋康仁

第33回 日本臨床工学会 2023年7月21日

冠動脈虚血を有した重症大動脈弁狭窄症に補助循環用ポンプカテーテルによる循環補助が有効であった一例

加藤和也 高山秀輔 大石航平

第31回 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023年8月4日

カテーテル室におけるECPRでメディカルスタッフに求められるものとは

加藤和也

第31回 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023年8月5日

補助循環用ポンプカテーテル抜去時における血栓症についての検討

加藤和也 鎌田浩聡 中林将大 中島あゆみ 羽鳥翔太 藤井拓也 小暮俊一 植木弘一 西田慎一
中嶋康仁

第48回 日本体外循環技術医学会大会 2023年10月20日

回路充填液組成による影響の検討

羽鳥翔太、西田慎一、高山秀輔、鎌田浩聡、中林将大、中島あゆみ、藤井拓也、小暮俊一、加藤和也、黒岩清一郎、植木弘一、中嶋康仁

第48回 日本体外循環技術医学会大会 2023年10月21日

人工肺並列用回路を組み込み人工肺交換がスムーズに行えた1症例

中島あゆみ、小暮俊一、鎌田浩聡、羽鳥翔太、黒岩清一郎、西田慎一、中嶋康仁

第48回 日本体外循環技術医学会大会 2023年10月21日

体外循環症例登録事業参加による当院の体外循環業務の変遷やデータの利活用について

中林将大 黒岩清一郎 西田慎一 藤井拓也 鎌田浩聡 中嶋康仁

第48回 日本体外循環技術医学会大会 2023年10月21日

RippleMappingを使用し分裂電位内の再早期部位を同定できた症例

羽鳥翔太, 小暮俊一, 中林将大, 中島あゆみ, 中嶋康仁, 藤原堅祐

カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023年11月18日

通常型心房粗動様だったがCTI block line近傍からのfocal ATであった1例

中島あゆみ, 小暮俊一, 関沼翔太, 中林将大, 羽鳥翔太, 中嶋康仁, 藤原堅祐, 中谷洋介

カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023年11月18日

経口Airwayを用いたNPPV管理の導入が手技時間に与える影響についての後方視的検討について

中林将大, 小暮俊一, 関沼翔太, 中島あゆみ, 羽鳥翔太, 藤井拓也, 庄司梨絵, 中嶋康仁, 藤原堅祐

カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023年11月18日

心原性ショックに対しhybrid ECMOとImpellaを用いて循環・呼吸補助を行った症例
加藤和也 高山秀輔 中島あゆみ 中嶋康仁
第34回 日本心肺補助学会学術集会 2024年1月27日

心に響く症例検討会
加藤和也 吉岡晃紀
第1回 埼玉心血管コメディカル研究会 CE部会定例会 2024年2月10日

薬剤部

仙波秀彦, 塩澤亮太, 杉田英章, 柳田絢子, 鈴木健太, 高橋公子, 鍵山奈保, 三宮忠, COVID-19入院患者の持参薬調査および代行処方支援が時間外労働時間に与える影響についての調査
2023.8.26 日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会

遠藤茂士, 秋元良介, 村社知恵子, 坂本彩乃, 川田美由樹, 小杉美月, 大倉知海, 三宮忠, 当院における左室駆出率の低下した心不全患者の入院状況 および、心不全基本治療薬の導入率に関する調査
2023.8.26 日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会

鈴木健太, 原 幸稔, 仙波 秀彦, 松本 大吾, 三宮 忠
外来化学療法におけるトレーシングレポートの有用性と医療経済効果の検討
2024.3.3 日本臨床腫瘍薬学会学術大会JASPO2024 (神戸)

看護部

鈴木理子：認定看護師の資格を持つ中間管理職のキャリア選択の過程
2023.8.25 日本看護管理学会 (東京都)

村松奈那, 新井いずみ, 秋元エミ, 高橋公子, 戸森会里：COVID-19患者の対応をする看護師の心理状態の変化
2023.12.22 埼玉県看護協会 北部・秩父支部看護研究発表会 (埼玉県)

伏島悠梨香, 松本恵：腹臥位療法導入から定着までに抱える看護師の困難感
2023.12.2 第31回 埼玉看護研究学会 (埼玉県)

林恵子 田中舞 古川佳子：心疾患を有する血液透析患者の水分管理支援～EASEプログラム®を使用した水分管理を目指して～
2023.11.19 日本腎不全看護学会学術集会 (宮城県)

菅原沙樹, 斎藤康人, 福田大空, 貞山華澄, 新井優里, 赤塚彩葉, 瀬尾直希, 清水小百合, 吉川雄一郎：くも膜下出血患者の早期リハビリテーション介入への取り組み～プロトコル導入前後の平均の比較をして～
2024.3.7 STROKE2023 (神奈川県)

4 講演等

循環器内科

講演、セミナー、シンポジウム（演者、パネル）

1. 藤井 真也第52回頭頸部・胸部画像研究会「肺血管疾患の画像 慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）にカテーテル治療をしてきて」2023年6月24日ハイブリッドWEB開催
2. 宮本 敬史 TAVIとMitra Clip
CCUナース向け講演会2023年6月27日
3. 永吉 信哉「虚血性心疾患へのアプローチの変化」当院の状況を踏まえて
2023年6月28日 秩父郡医師会学術講演会
4. 宮本 敬史 今なぜ心不全なのか～心不全診療の最前線～
令和4年度埼玉県立病院職員臨床検査技師会第2回研修会
2023年6月30日 WEB講演
5. 鈴木 輝彦 閉塞性動脈硬化症に対する治療について ～予防、日常診療でのスクリーニングから治療まで～ 2023年7月21日 比企郡医師会学術講演会
6. 宮本 敬史 Joint WEB Meeting ～プライマリ・ケア医と目指す心不全治療～
当院の心不全の取り組みを交えて
2023年7月20日 WEB講演 ホテルガーデンパレス
7. 宮本 敬史 弁膜症の新しい治療 TAVIとMitra Clipのお話～ Watchmanについても～
院内講演会 2023年8月2日
8. 宮本 敬史 第10回コメディカルのための基礎教育セミナー
TAVIとMitra Clipとの基本のキ～ Watchmanも少しだけ～ 2023年8月27日 WEB講演
9. 宮本 敬史 第9回むさしの国心腎連携フォーラム
循環器内科医はなぜ腎臓を大切にしないといけないのか？～当院の取り組みをまじえて～
2023年8月31日 WEB講演
10. 宮本 敬史 Cardiology Hyperkalemia Seminar in Saitama
当院の心不全の取り組み BNP外来の意義とは
2023年9月21日 WEB講演 キングアンバサダーホテル
11. 藤井 真也 CTEPHの治療連携について考える会「慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）を早期発見し治療する」2023年9月22日 群馬・ハイブリッドWEB開催

12. 武藤 誠 第82回（一社）熊谷薬剤師会 学術Web講演会 虚血性心疾患症例における貧血の管理 2023年9月27日 Web講演
13. 武藤 誠 狭心症と心筋梗塞のお話し 診断・治療・予約 2023年10月12日 本庄市保健センター 2階研修室 講演
14. 宮本 敬史 循環器疾患Expert Meeting 北埼玉医師会
大動脈弁狭窄症はなぜ治療しなくてはいけないのか？～弁膜症患者の予後はかかりつけ医の聴診にかかっている～ 2023年11月8日 WEB講演
15. 藤井 真也 PH診療向上セミナー～PAH×CTEPH～「肺高血圧診療における慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）を早期発見し治療する」2023年11月13日 WEB開催
16. 宮本 敬史 入間地区・狭山市医師会学術講演会
大動脈弁狭窄症はなぜ治療しなくてはいけないのか？～弁膜症患者の予後はかかりつけ医の聴診にかかっている～ 2023年11月17日 WEB講演
17. 藤井 真也 BPA症例検討会「Pouching defectの治療戦略を考える」
2023年11月29日 WEB開催
18. 宮本 敬史 出張いきいき健康塾 in 深谷
皆さん、心不全ってご存じですか？～心不全の最新の診断と治療～
2024年1月30日 深谷市花園公民館

講演、セミナー、シンポジウム（座長、パネル）

1. 武藤 誠 Cardiorenal Bridge Seminar 2023年8月8日 Zoom配信 総合司会
2. 武藤 誠 循環器GLP-1 Seminar「循環器内科からみた糖尿病診療～ナトリウム利用ペプチド、GLP1受容体作動薬の可能性～」2023年11月29日
深谷上柴公民館 中会議室 座長
3. 鈴木 輝彦 ELCA Conference East Kanto 2023年12月5日 Web配信
4. 宮本 敬史 フォシーガ講演会 座長 2023年12月8日
5. 鈴木 輝彦 高度石灰化病変への治療選択 ～OAS&DCBで挑む～ 2024年3月6日
Web配信
6. 武藤 誠 心腎連関について考える会 2024年2月9日 WEB開催 座長

その他

鈴木 輝彦 KCTライブ PCIライブオペレーター 2023年11月27日

腎臓内科

シンポジウム

「アシステッドPDと病診連携のすゝめ」

当院におけるアシステッドPDの取り組み

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 腎臓内科

原 宏明、佐藤 真理子

2024年03月31日第13回 埼玉腹膜透析研究会・総会 埼玉県川越市 ウェスタ川越

放射線診断科

叶内 哲：胸部X線写真読影の基本. 第36回埼玉県肺がん検診セミナー. 2023.01.14.さいたま.

呼吸器内科

高久洋太郎：クリニックで診る喘息～フローチャートで決める処方薬～：本庄市児玉郡医師会学術講演会：2023年5月

高久洋太郎：重症喘息における生物学的製剤の有用性～抗TSLP抗体製剤の登場を踏まえて～：第322回病院薬学研修会：2023年6月

高久洋太郎：喘息診療アップデート～抗TSLP抗体製剤を踏まえて～：熊谷医師会学術講演会：2023年10月

高久洋太郎：コロナ禍を経た現在の喘息/COPDガイドラインは？～近年の喘息治療/COPD治療を再確認しよう～2.喘息のガイドラインについて：第18回 北埼玉吸入療法連携会勉強会

小林洋一：肺癌カンファレンスin 埼玉北部 ディスカスタント：2023年6月

小林洋一：肺癌薬物療法に関するディスカッション～周術期から進行・再発まで～ ディスカスタント：本音で語る肺癌診療in Saitama：2023年9月

小林洋一：Lung Cancer Web Seminar in Saitama パネリスト：2023年11月

磯野泰輔：HER2遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の治療経験：埼玉呼吸器疾患研究会 定例会：2024年3月

鍵山奈保：ここまで進化した肺癌診療～非小細胞肺癌を中心に～：熊谷市医師会・埼玉県立循環器・呼吸器病センター病診連携会：2023年9月

鍵山奈保：ここまで進化した肺癌治療～非小細胞肺癌を中心に～：比企医師会学術講演会：2023年11月

鍵山奈保：最近の肺癌診療～免疫療法を中心に～：第325回病院薬学研修会：2023年12月

鍵山奈保：「早期肺がん個別化治療の時代」座長：第185回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会アフタヌーンセミナー2：2023年6月

呼吸器外科

諸岡宏明「人体の仕組み／呼吸器」2023年5月19日、5月26日、6月2日 熊谷市医師会看護専門学校
准看護学科

諸岡宏明「疾病と治療Ⅱ／呼吸器系・循環器系 呼吸器外科疾患」2023年9月1日、9月8日、9月15日、
9月22日 熊谷市医師会看護専門学校 看護学科

高橋伸政： いきいき健康塾「肺癌との向き合い方 -発見から治療まで-」2023年12月1日

高橋伸政： 秩父医師会病診連携会「呼吸器外科 -最近の取り組みについて-」2023年12月20日

高橋伸政： 埼玉医科大学クルズス、「呼吸器外科疾患」、2023年8月30日、11月15日

高橋伸政： 座長、特別講演。第11回埼玉県北部肺癌研究会学術講演会，熊谷市；2023年11月10日

高橋伸政： 座長、第4回さいたま県北敗血症治療セミナー，熊谷市；2023年11月13日

脳神経センター

吉川雄一郎：[教育講演] くも膜下出血後のエンドセリンに対する血管収縮性亢進メカニズム～受容体シグナルの活性化と筋フィラメントのカルシウム感受性亢進の増強作用を中心に～，Medical Advisory Board Meeting Inspiration (2023.2.1 赤坂)

吉川雄一郎：[ディスカッサント] 直達手術ビデオセッションComplex ICA aneurysm に対するneck clipping 手技. 1st UTOPIA for CVD (2023.2.25 大阪)

吉川雄一郎：[パネリスト] 当院のSAH治療プロトコールとクラゾセンタンの臨床効果. Idorsia SAH Academic Forum 2023 (2023.6.4 赤坂)

吉川雄一郎：[座長] 県北Brain Management Forum (2023.6.6. 熊谷)

吉川雄一郎：[特別講演] 脳卒中医療を取り巻く最近の動向. 秩父郡市医師会学術講演会. (2023.6.28 秩父市)

吉川雄一郎：[講師] 脳血管障害の病態と外科治療, 日本血液製剤機構学術研究会. (2023.7.26 熊谷市)

吉川雄一郎：[特別講演] 脳卒中医療の現在の動向と今後の展望. 熊谷医師会・埼玉県立循環器・呼吸器病センター病診連携会. (2023.9.8 熊谷市)

吉川雄一郎：[特別講演] クラゾセンタン導入による脳血管攣縮予防の新たな展開. SAH Clinical Seminar in SAITAMA. (2023.9.22 大宮)

吉川雄一郎：[ディスカッサント] 症候性脳血管攣縮を来した軽症くも膜下出血の1例. SAH SPASM Management Clinical Conference「くも膜下出血に伴う脳血管攣縮 my Expertise」. (2023.10.5 東京)

吉川雄一郎：[特別講演] 脳血管攣縮とエンドセリン～くも膜下出血後の脳血管収縮性増大とそのメカニズムを中心に～. 第25回千葉あすなろの会. (2023.10.6 柏)

吉川雄一郎：[講演] 出血発症した側頭葉内側AVMの2症例. 脳神経外科難症例手術研究会2024 in OKINAWA. (2024.1.27 沖縄)

吉川雄一郎：[座長] メインシンポジウム4「“脳卒中・外傷” 脳外科救急初療・判断・診断」. 第29回日本脳神経外科救急学会. (2024.2.2. 東京)

吉川雄一郎：[ディスカッサント] Complex ACoA aneurysms: 血管内治療のcutting edgeと直達手術再考. 2nd UTOPIA for CVD (2024.2.17 大阪)

吉川雄一郎：[座長] 県北脳卒中地域連携セミナー. (2024.3.11 熊谷)

笠倉至言：[講演] 脳動脈瘤の治療におけるマイクロカテーテルのシェイピング. Stryker研究会 (2023.6.18 狭山)

笠倉至言：[講演] こんなとき、EMBOTRAP® IIIを使いたくなる. 日本脳神経血管内治療学会関東地方会ランチョンセミナー (2023.7.22 お茶の水)

笠倉至言：[講演] 破裂動脈瘤（PICA分岐部）の治療選択、一期的治療の立場から. 日本脳神経内科血管治療研究会シンポジウム (2023.8.19 盛岡)

笠倉至言：[講演] 脳血管疾患の脂質管理を考える. 脳血管疾患WEBセミナー (2023.8.21 川越)

笠倉至言：[講演] T1BBとMRA TOFによるFD留置後の動脈瘤血栓化の評価. Medtronic研究会 (2023.8.31 東京)

寺西亮雄：[講演] 当院における脳腫瘍治療について. 第4回脳腫瘍セミナー (2023.3.14 熊谷)

小野寺康暉：[講演] 当科における急性期脳梗塞に対する血栓回収療法の現状と脳卒中後てんかんについて. 埼玉県北部ストロークセミナー (2023. 12. 6 埼玉)

小野寺康暉：[講演] 治療に難渋した血管障害における手術. 関埼Neurosurgery Meeting (2023.11.17 埼玉)

病理診断科

清水禎彦. 呼吸器 I. 第48回細胞診断学セミナー. 2023年8月5日, 三鷹.

河端美則. 石綿肺について考える. 第12回茨城県びまん性肺疾患研究会. 2023年11月9日, 水戸 (ウエブ配信).

河端美則. 肺結核症の病理発生から考えるサルコイドーシス. NHO茨城東病院勉強会. 2023.年11月10日, 茨城 (東海).

検査技術部

小島幸子 心血管エコー WEB合同カンファランス「E c h o-S 2024春」

症例検討「Valsalva洞動脈瘤破裂とVSDを経胸壁心エコーによるカラードプラ法と連続波ドプラ法による収縮期時相波形から鑑別し得た一例」

2024年4月12日 WEB

沼上秀博 2022年度埼玉県医師会精度管理事業報告会「体腔液（胸水中に出現する悪性細胞～代表的組織型とその鑑別」2023年5月27日、さいたま市

臨床工学部

経皮的循環補助デバイス

加藤和也

第10回 埼玉心血管コメディカル研究会 コメディカルのための基礎教育セミナー 2023年8月27日

電気メスの特徴を生かした運用について

松本貴之

第3回 関東甲信越臨床工学会 ランチョンセミナー2 2023年10月14日

ABL

中島あゆみ

第10回 埼玉心血管コメディカル研究会 コメディカルのための基礎教育セミナー 2023年8月27日

薬剤部

三ッ橋千尋 第7回 外来化学療法病薬連携研修会 悪心・嘔吐対策
2023.8.4 WEB

杉田 英章 第17回 北埼玉吸入療法連携会勉強会 逆引き！手技不良からのデバイス提案の引きだし
2023.10.24 循環器・呼吸器病センター講堂

雨宮 樹奈 第8回 外来化学療法病薬連携研修会 がん患者の便秘について
2023.12.1 WEB

柳田 絢子 第18回北埼玉吸入療法連携会勉強会 吸入指導関係の診療報酬を整理しよう
2024.1.26 WEB

杉田 英章 第18回北埼玉吸入療法連携会勉強会 コロナ禍を経た現在のCOPDガイドラインは？
2024.1.26 WEB

柳田 絢子 第19回北埼玉吸入療法連携会勉強会 使ってみようエアゾール製剤とスパーサー
2024.3.1 循環器・呼吸器病センター講堂

松本 大吾 第9回 外来化学療法病薬連携研修会 化学放射線療法後のイミフィンジの用量用法
2024.3.8 WEB